



2025年度医療系国家試験結果

看護師、助産師、理学療法士、作業療法士、救急救命士で合格率100%を達成！

京都橘大学（京都市山科区、学長：岡田知弘）では、2025年度の医療系国家試験において、看護師、助産師、理学療法士、作業療法士、救急救命士が合格率100%を達成しました。

本学では低回生から医療人としての倫理観や教養を育むカリキュラムを設け、医療現場に不可欠な“人間力”を養成しています。また、6つの医療系学科が連携して行う、たちばなチーム医療科目群（多職種連携教育）の実施により、実践的なチーム医療の力が自然と身につきます。

さらに、最新設備を備えたシミュレーションコモンズや実習室を活用し、実践力を鍛え、現場で即戦力として活躍できるスキルの習得を重視したカリキュラムを展開しています。

今回の結果に結びついた背景には、学生一人ひとりの学習進度の把握を行い、模擬試験の結果をもとにした、苦手分野克服のための個別指導体制を整えたことや、学生同士のグループ学習・教え合いの環境を整備したことなどがあります。

また医療・福祉・行政機関との連携を強化し、京都府内を中心に、病院・福祉施設・救急医療機関・保健所・助産施設などの多様な実習先で、現場の専門家から直接指導を受けていることも今回の結果につながった大きな要因として考えています。

京都橘大学は、今後も医療・福祉・行政機関とのパートナーシップを強化し、「知識」と「実践力」を兼ね備えた医療人を育成し、社会を支える医療従事者を輩出できるよう、より一層、教育の充実を図ってまいります。

【各国家試験の結果詳細】

- | | |
|-----------------------------------------------------|--------------------------------------------------|
| ・看護師（第115回看護師国家試験）
受験者数95人、合格者数95人、合格率100% | ・助産師（第109回助産師国家試験）
受験者数7人、合格者数7人、合格率100% |
| ・保健師（第112回保健師国家試験）
受験者数20人、合格者数19人、合格率95% | ・理学療法士（第61回理学療法士国家試験）
受験者数54人、合格者数54人、合格率100% |
| ・作業療法士（第61回作業療法士国家試験）
受験者数27人、合格者数27人、合格率100% | ・救急救命士（第49回救急救命士国家試験）
受験者数42人、合格者数42人、合格率100% |
| ・臨床検査技師（第72回臨床検査技師国家試験）
受験者数78人、合格者数73人、合格率93.6% | |

●取材・内容についてのお問い合わせ先

京都橘大学広報課 担当：立木、前川 TEL：075-574-4112 E-mail：pub@tachibana-u.ac.jp



■看護学部長・奥野 信行教授コメント

看護学部では、国家試験対策を3回生から段階的に実施し、4回生時には学生主体の「国家試験対策委員会」を中心に、学生・教員・職員が連携した組織的な取り組みを行っています。具体的には、卒論ゼミから選出された代表が委員となり、学生自らが年間の学習計画の立案・実施・評価を担い、効果的な学習方法の検討も行っています。教員は、学習計画の遂行過程における助言や学習支援、学生の取り組み状況の共有を通して、ゼミ単位での支援体制を整えています。職員は、教員との連携による学習支援内容の検討、模試の企画・運営、学習環境の整備を担っています。これらの成果として、本年度は看護師・助産師ともに全員合格、保健師においても高い合格率を達成しました。今後も、国家試験における確実な到達を目指した支援に努めてまいります。

■健康科学部長・今井 優樹教授コメント

本年度の国家試験において、理学療法学科・作業療法学科・救急救命学科の3学科は、昨年引き続き合格率100%という快挙を達成し、臨床検査学科においても93.6%という極めて高い成果を収めることができました。この輝かしい結果は、学生たちが日々研鑽を積み、互いに切磋琢磨し合った結晶です。また、彼らを支え続けた教職員の熱意ある指導が実を結んだことを、深く誇りに感じております。このように高い水準を維持できていることは、本校の教育環境が確かなものである証です。今後も、高度な専門知識はもちろん、現場で信頼される豊かな人間性を備えた医療のプロフェッショナルを社会に送り出すべく、更なる教育の質の向上に邁進してまいります。卒業生の皆さんが各分野の最前線で輝くことを、心より期待しております。

【看護学部 特徴】

2005年に開設した看護学部は、関西私立大学のなかでも先駆けであり（京都府内の4年制私立大学では初）、これまで1,644名（2026年3月卒業生までの合計）の卒業生を輩出してきました。「人によりそう看護」を実践する看護師を養成することを目標に、多様で豊富な実習を行っており、考え抜く力と応用力を磨く「シミュレーション教育」や生涯をとおして学びを支える「卒後教育」「大学院教育」など、「時代の変化に対応し、どのような状況でも人によりそう看護を創造し、実践できる看護師になってほしい」という理念のもと教育を行っております。そのために、常に10年先を見据えたカリキュラムを構築し、地域社会に貢献できる人材の養成を行っています。

【健康科学部 特徴】

チーム医療や地域医療を担える判断力や応用力を養う「理学療法学科」、自分らしい生活や社会への復帰を支援できる知識と技能を学ぶ「作業療法学科」、高度な救命技術と医学を総合的に学ぶ「救急救命学科」、診断や治療を支える検査・分析の知識と技術を磨く「臨床検査学科」の4学科に加え、2026年4月から新たに、京都府の大学で初の臨床工学技士養成課程となる「臨床工学科」を開設しています。

医療系の複数の学科が同一キャンパス内に集結しているため、学生は学部・学科の垣根を超え、在学時から他職種との連携を深め、チーム医療の重要性を学ぶ環境が整っています。人間の健康を心と体の両面から総合的にとらえ、ケアを必要とする人々をサポートできる人材の養成を行っています。

●取材・内容についてのお問い合わせ先

京都橘大学広報課 担当：立木、前川 TEL：075-574-4112 E-mail：pub@tachibana-u.ac.jp